

【総合的な学習の時間】 第1回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 ガイダンス

2. 本時の概要

本時は、2026年度中学2年生の「総合的な学習の時間」のスタートとなる第1回のガイダンス授業である。

中学2年生の探究活動では、自らの興味・関心に基づいたテーマを掘り下げるだけでなく、それを「社会の課題」と接続させることを重視する。生徒は共通の関心を持つ者同士でグループを形成し、社会問題に関連した課題の発見、情報の収集・整理・分析を行い、その成果をポスターにまとめる。最終的にはポスターセッション形式で発表を行う。

この活動において大切にしたい視点は、「社会の課題との接続」と「他者との協働」の二つである。「社会の課題との接続」とは、探究テーマが自分と社会の双方にとってどのような意味を持つかを考えることであり、「他者との協働」とは、多様な経験を持つ仲間と互いの違いから学び合い、新しいアイデアを生み出す経験を積むことである。これらは、将来社会でプロジェクトを進めるための土台作りとなる。

第1回となる本時では、SSコンピテンシーを再確認し、現状の力を把握するための調査を実施する。また、1年間の活動の流れや探究の意義を理解させるとともに、SDGsの17ゴールに関する調査を通じて、生徒一人ひとりが自身の興味・関心が社会のどの部分と重なっているかを自覚する機会を設ける。

3. 本時の目標

- **探究活動の意義と社会との接続の理解:** 中学2年生における「総合的な学習の時間」の目的が「社会の課題との接続」と「他者との協働」にあることを理解し、外部コンクールへの挑戦を含めた1年間の探究活動の見通しを持つことができる。
- **自己の興味・関心と社会課題の関連付け:** SDGs 17ゴールの解説参照とフォームへの回答を通じて、自身の興味・関心が社会のどのような課題とつながっているかを考え、グループ形成に向けた自己の立ち位置を明確にする。
- **資質・能力の客観的把握と意欲の向上:** SSコンピテンシー調査等を通して、現在の自分自身の力を客観的に見つめ直し、チームで協力して新しい価値を創造しようとする主体的な学習姿勢を養う。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第1回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館

- 生徒用配布プリント：
 - SSコンピテンシー一覧
- 参考文献：
 - 文部科学省(2017)『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編』
 - 株式会社フロムページ 夢ナビ編集部「SDGs 17ゴール解説」
https://telemail.jp/shingaku/p/sdgs_kaisetu/ 2026年7月29日

5. 本時の展開(100分:50分×2コマ / 中間休憩10分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】(各教室にて実施)		
5分	1. 本時の流れを把握する。 ガイダンスの目的と本時の活動内容について説明を聞く。	プロジェクターでスライドを提示し、1限目(コンピテンシー調査)と2限目(ガイダンス)の構成を明確にする。
10分	2. SSコンピテンシーの内容を再確認する。 配布されたSSコンピテンシー一覧を読み、本校が重視する資質・能力(SSコンピテンシー)について理解を深める。	生徒一人ひとりに「SSコンピテンシー一覧」を確実に配布し、各項目の定義を再確認させる。
35分	3. コンピテンシー調査に回答する。 自身の情報端末を用いて指定されたフォームにアクセスし、現在の自身の力を客観的に振り返りながら回答する。	予約配信されたフォーム(Classroom内)へのアクセスを指示する。回答状況をリアルタイムで確認し、未回答者や操作に不慣れな生徒を個別フォローする。
【2時限目】(グリーンホールにて実施)		
5分	4. 授業担当者の紹介を受け、探究の意義を知る。 今年度の担当教員を確認し、総合的な学習の時間(探究)の目的について理解する。	スライドを用い、探究活動は「自分の好きなことを掘り下げる時間」であることを強調し、生徒の意欲を喚起する。
15分	5. 中2の探究活動の全体像と流れを把握	スライドを用い、グループでのポスター作成や外部コン

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
	する。 「社会の課題との接続」と「他者との協働」という二つの重点目標を理解し、年間のスケジュールを確認する。	クールへの挑戦、昨年度の事例などを具体的に示す。『学習の手引き』を適宜参照させ、評価基準についても触れる。
25分	6. SDGs調査を通じて自己の関心を整理する。 解説サイトを参照しながら、自身の興味・関心がSDGsの17ゴールのどこに該当するかを考え、フォームに回答する。	解説サイトのURLを共有し、多角的な視点でゴールを検討させる。この調査結果が今後のチーム編成の重要な基礎資料になることを伝え、真剣な回答を促す。
5分	7. 次回の活動内容を確認する。 本時の振り返りを行い、次回のチーム編成に向けた見通しを持つ。	フォームの回答完了を確認し、次回の活動予定を伝えて締めくくる。